

平成25年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	特別障害給付金給付に必要な経費		担当部局庁	年金局		作成責任者					
事業開始・終了(予定)年度	平成17年度		担当課室	総務課		総務課長 八神 敦雄					
会計区分	年金特別会計福祉年金勘定		政策・施策名	Ⅷ-1-1 障害者の地域における生活を支援するため、障害者の生活の場、働く場や地域における支援体制を整備すること							
根拠法令 (具体的な条項も記載)	「特定障害者に対する特別障害給付金の支給に関する法律」第3条		関係する計画、通知等	—							
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国民年金制度の発展過程において生じた特別な事情を考慮し、障害基礎年金等の受給権を有していない障害者の福祉の増進を図るための特別障害給付金の給付を行う。										
事業概要 (5行程度以内。別添可)	国庫負担金等を財源として、特別障害給付金の給付を行う。										
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他										
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	22年度		23年度		24年度		25年度予算		26年度要求	
		当初予算	8,458	7,834	7,699	7,357	7,191				
		補正予算	▲ 2,377	▲ 3,709	▲ 3,956						
		繰越し等									
	計	6,081	4,125	3,743	7,357	7,191					
	執行額	3,708	3,642	3,522							
執行率(%)	61%	88%	94%								
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (25年度)			
	特定障害者に対し、受給資格等を認定された特別障害給付金を適切に給付する。			成果実績	億円	37	36	35	74		
				達成度	%	61%	88%	94%			
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込			
	特別障害給付金受給者に対し、着実に給付する。			活動実績 (当初見込み)	千人	8	8	8	—		
						—	—	—	(22)		
単位当たりコスト	(円/)			算出根拠	—						
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由							
	特別障害給付金給付費	7,357	7,191	特別障害給付金受給者数の減等による							
	計	7,357	7,191								

事業所管部局による点検					
	項目		評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	本事業は、国民年金制度の発展過程において生じた特別な事情を考慮し、障害基礎年金等の受給権を有していない障害者の福祉の増進を図ることを目的としており、安定的かつ継続的に行うことが求められる必要不可欠な事業であるため、国において実施すべき事業である。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-	「特定障害者に対する特別障害給付金の支給に関する法律」に基づく特別障害給付金の給付であり、受益者との負担関係は妥当である。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		-		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○		
事業の有効性	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	「特定障害者に対する特別障害給付金の支給に関する法律」に基づく受給者への特別障害給付金の給付であり、必要な経費に限定されている。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○		
重複排除	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-	活動実績はほぼ見込みどおり推移している。	
	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
点検結果	<p>・当該支出は、「特定障害者に対する特別障害給付金の支給に関する法律」に基づき、国民年金に任意加入していなかったことにより、障害基礎年金等を受給していない障害者に対して支給する特別障害給付金に充てるものであり、平成24年度においても、前年度と同程度の8千人に対して給付を行った。</p> <p>・引き続き、さらに多くの方に特別障害給付金を請求していただくために、制度の周知・広報の取組を継続的に展開するとともに、特別障害給付金受給者への支払に支障をきたさぬように、過去の支払実績等を踏まえた適正な資金繰りを行うなどの取組を進める。</p>				
	外部有識者の所見				
点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
現状通り	本事業の必要性の観点から、評価も概ね妥当であり、引き続き適正な執行に努めるべき。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
現状通り	-				
備考					
1. 事業仕分け(第3弾) ①実施年月日…平成22年10月28日 ②事業番号…A-9 ③評価結果…<枠組みのあり方(主体・区分経理)> 新たな制度設計の中であり方を検討					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年	-	平成23年	0741	平成24年	0651

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省

(特定障害者に対する特別障害給付金の支給に関する法律に基づく、障害者への給付金の支払)

3,522百万円(平成24年度執行額)

給付金受給者

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているかについて補
足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
特別障害給付 金給付費	特定障害者に対する特別障害給付金の支 給に関する法律に基づく、障害者への特 別障害給付金の支払	3,522			
計		3,522	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	給付金受給者	特定障害者に対する特別障害給付金の支給に関する法律に基づく、障害者への特別障害給付金給付費の支払	3,522		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					